

大齋節第3主日特祷

全能の神よ、罪人の自ら治め得ない心の思いを正しく導いてくださる方は、あなたのほかにはありません。どうか私たちに、主の戒めを喜び、主の約束を慕う恵みを与え、移り変わりの多いこの世において、変わる事のない真の喜びに常に心を置くことができますように。私たちの主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 出エジプト記 17章1-7節

17:1 イスラエル人の全会衆は、主の命によりシンの荒れ野を出発し、旅を重ねて、レフィディムに宿営した。しかし、そこには民の飲む水がなかった。2 民はモーセと言い争いになり、「飲み水をください」と言った。モーセは彼らに言った。「なぜあなたがたは私と言い争うのか。なぜ主を試すのか。」3 しかし、民はそこで水を渴望し、モーセに対して不平を述べた。「私たちがエジプトから上らせたのは何のためだったのですか。私や子どもたちや家畜を渇きで死なせるためだったのですか。」4 そこでモーセは主に叫んだ。「私はこの民をどうすればよいのでしょうか。彼らは今にも私を石で打ち殺そうとしています。」5 主はモーセに言われた。「民の前を通り、イスラエルの長老を何名か一緒に連れて行きなさい。ナイル川を打ったあなたの杖も手に取って行きなさい。6 私はホレブの岩の上であなたの前に立つ。あなたがその岩を打つと、そこから水が出て、民はそれを飲む。」モーセはイスラエルの長老たちの目の前でそのとおりに行った。7 そして、モーセはその場所をマサとメリバと名付けた。イスラエルの人々が、「主が私たちの間におられるのかどうか」と言って、モーセと言い争い、主を試したからである。

詩編 第95篇

- 1 さあ、主に向かって、喜び歌おう || 救いの岩に喜びの声を上げよう
- 2 感謝のうちにその前に進み || 賛美と共に喜びの声を上げよう
- 3 まことに主は大なる神 || すべての神々にまさる偉大な王
- 4 地の深みもその手の内にあり || 山々の頂も主のもの
- 5 海も主のもの。主が造られた || その手は乾いた地を形づくられた
- 6 さあ、ひれ伏し、身をかがめよう || 私たちを造られた方、主の前にひざまずこう
- 7 まことに、主こそ我らの神 || 私たちはその牧場の民、御手の羊
- 8 あなたがたは今日、主の声を聞きなさい || 「メリバにいた時のように、マサの荒れ野にいた日のように、心をかたくなにすることはならない
- 9 あのと、あなたがたの先祖は私を試みた || 私の業を見ていながら、私を試した
- 10 四十年の間、私はその世代をいとい、そして言った || 『彼らは心の迷える民、私の道知らない』
- 11 私は怒り、誓いを立てた || 『彼らは私の憩いに入れない』と

使徒書 ローマの信徒への手紙5章1－11節

5:1 このように、私たちは信仰によって義とされたのだから、私たちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ています。2 このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。3 そればかりでなく、苦難をも誇りとしています。苦難が忍耐を生み、4 忍耐が品格を、品格が希望を生むことを知っているからです。5 この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。6 キリストは、私たちがまだ弱かった頃、定められた時に、不敬虔な者のために死んでくださいました。7 正しい人のために死ぬ者はほとんどいません。善い人のためなら、死ぬ者もいるかもしれません。8 しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対する愛を示されました。9 それで今や、私たちはキリストの血によって義とされたのですから、キリストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。10 敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていたのだのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです。11 それだけでなく、私たちの主イエス・キリストによって、私たちは神を誇りとしています。このキリストを通して、今や和解させていただいたからです。

福音書 ヨハネによる福音書 4章5－42節

4:5 それで、イエスはヤコブがその子ヨセフに与えた土地の近くにある、シカルというサマリアの町に来られた。6 そこにはヤコブの井戸があった。イエスは旅に疲れて、そのまま井戸のそばに座っておられた。正午ごろのことである。7 サマリアの女が水を汲みに来た。イエスは、「水を飲ませてください」と言われた。8 弟子たちは食べ物を買うために町に行っていた。9 すると、サマリアの女は、「ユダヤ人のあなたがサマリアの女の私に、どうして水を飲ませてほしいと頼むのですか」と言った。ユダヤ人はサマリア人とは交際していなかったからである。10 イエスは答えて言われた。「もしあなたが、神の賜物を知っており、また、『水をください』と言ったのが誰であるかを知っていたならば、あなたのほうから願い出て、その人から生ける水をもらったことであろう。」11 女は言った。「主よ、あなたは汲む物をお持ちでないし、井戸は深いのです。どこからその生ける水を手にお入れになるのですか。12 あなたは、私たちの父ヤコブよりも偉いのですか。ヤコブがこの井戸を私たちに与え、彼自身も、その子どもや家畜も、この井戸から飲んだのです。」13 イエスは答えて言われた。「この水を飲む者は誰でもまた渴く。14 しかし、私が与える水を飲む者は決して渴かない。私が与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水が湧き出る。」15 女は言った。「主よ、渴くことがないように、また、ここに汲みに来なくてもいいように、その水をください。」16 イエスが、「行って、あなたの夫をここに呼んで来なさい」と言われると、17 女は答えて、「私には夫はいません」と言った。イエスは言わ

れた。「『夫はいません』というのは、もっともだ。18 あなたには五人の夫がいたが、今連れ添っているのは夫ではない。あなたの言ったことは本当だ。」19 女は言った。「主よ、あなたは預言者だとお見受けします。20 私どもの先祖はこの山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムにあると言っています。」21 イエスは言われた。「女よ、私を信じなさい。あなたがたが、この山でもエルサレムでもない所で、父を礼拝する時が来る。22 あなたがたは知らないものを礼拝しているが、私たちは知っているものを礼拝している。救いはユダヤ人から来るからだ。23 しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊と真実をもって父を礼拝する時が来る。今がその時である。父はこのように礼拝する者を求めておられるからだ。24 神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真実をもって礼拝しなければならない。」25 女は言った。「私は、キリストと呼ばれるメシアが来られることを知っています。その方が来られるとき、私たちに一切のことを知らせてくださいます。」26 イエスは言われた。「あなたと話をしているこの私が、それである。」27 その時、弟子たちが帰って来て、イエスが女の人と話をしておられるのに驚いた。しかし、「何を求めですか」とか、「何をこの人と話しておられるのですか」と言う者はいなかった。28 女は、水がめをそこに置いて町に行き、人々に言った。29 「さあ、見に来てください。私のしたことをすべて、言い当てた人がいます。もしかしたら、この方がメシアかもしれません。」30 人々は町を出て、イエスのもとへ向かった。31 その間に、弟子たちが「先生、召し上がってください」と勧めると、32 イエスは、「私には、あなたがたの知らない食べ物がある」と言われた。33 弟子たちは、「誰かが食べ物を持って来たのだろうか」と互いに言った。34 イエスは言われた。「私の食べ物とは、私をお遣わしになった方の御心を行い、その業を成し遂げることである。35-36 あなたがたは、『刈り入れまでまだ四か月ある』と言っているではないか。しかし、私は言うておく。目を上げて畑を見るがよい。すでに色づいて刈り入れを待っている。刈り入れる人は報酬を受け、永遠の命に至る実を集めている。こうして、蒔く人も刈る人も共に喜ぶのである。37 『一人が蒔き、一人が刈り入れる』ということわざのとおりになる。38 私は、あなたがたを遣わして、あなたがたが自分で労苦しなかったものを刈り取らせた。ほかの人々が労苦し、あなたがたはその労苦の実りにあずかっている。」39 さて、町の多くのサマリア人は、「あの方は、私のしたことをすべて言い当てました」と証言した女の言葉によって、イエスを信じた。40 そこで、サマリア人たちはイエスのもとにやって来て、自分たちのところに滞在して下さるように願った。イエスは、二日間そこに滞在された。41 そして、さらに多くの人々が、イエスの言葉を聞いて信じた。42 彼らは女に言った。「私たちが信じるのは、もうあなたが話してくれたからではない。自分で聞いて、この方が本当に世の救い主であると分かったからである。」